

都市再生整備計画

おおままかんこう
大間々観光地区
第4回変更

群馬県 みどり市

令和2年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	みどり市	地区名	大間々観光地区	面積	250 ha
-------	-----	------	------	-----	---------	----	--------

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度
------	---------------------	------	---------------------

<p>目標</p> <p>大目標 地域資源を活用した観光まちづくり 小目標① 観光交流センターの整備や案内看板の整備により観光機能を充実させ、交流人口の増加を目指す。 小目標② 観光ルートに広場を整備し、また散策道の改修など歩行環境の整備により、観光客の回遊性を高める。</p>
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、本市大間々町の南部に位置しており、地区の東西は桐生市に接し、古くから足尾銅山から銅を運ぶあかがね街道の宿場町として栄えた町である。 ・本地区は、古くから絹の取引を中心に商業の町としても栄え、古くからまちなみが形成されており、ながめ余興場などの観光資源がある。 ・本地区北部の山間部から南部に渡良瀬川が流れており、川の途中には景観豊かな高津戸峡がある。 ・地区内には、鉄道が3路線あり、道路も国道2路線のほか複数の県道があり、交通の便が良い地区である。 ・足尾銅山の閉山や絹産業の縮小など産業構造の変化にともない、現在は、高津戸峡などの自然やながめ余興場などの施設を活かした観光産業が重要となっている。 ・本地区は、少子高齢化が進んでおり、北部の小学校は統廃合がされている。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化や少子高齢化により地区内の人口が減少するなど、地域の活力低下が進行している。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用による観光振興を図り、交流人口を増加させ、地域の活力を向上させる。

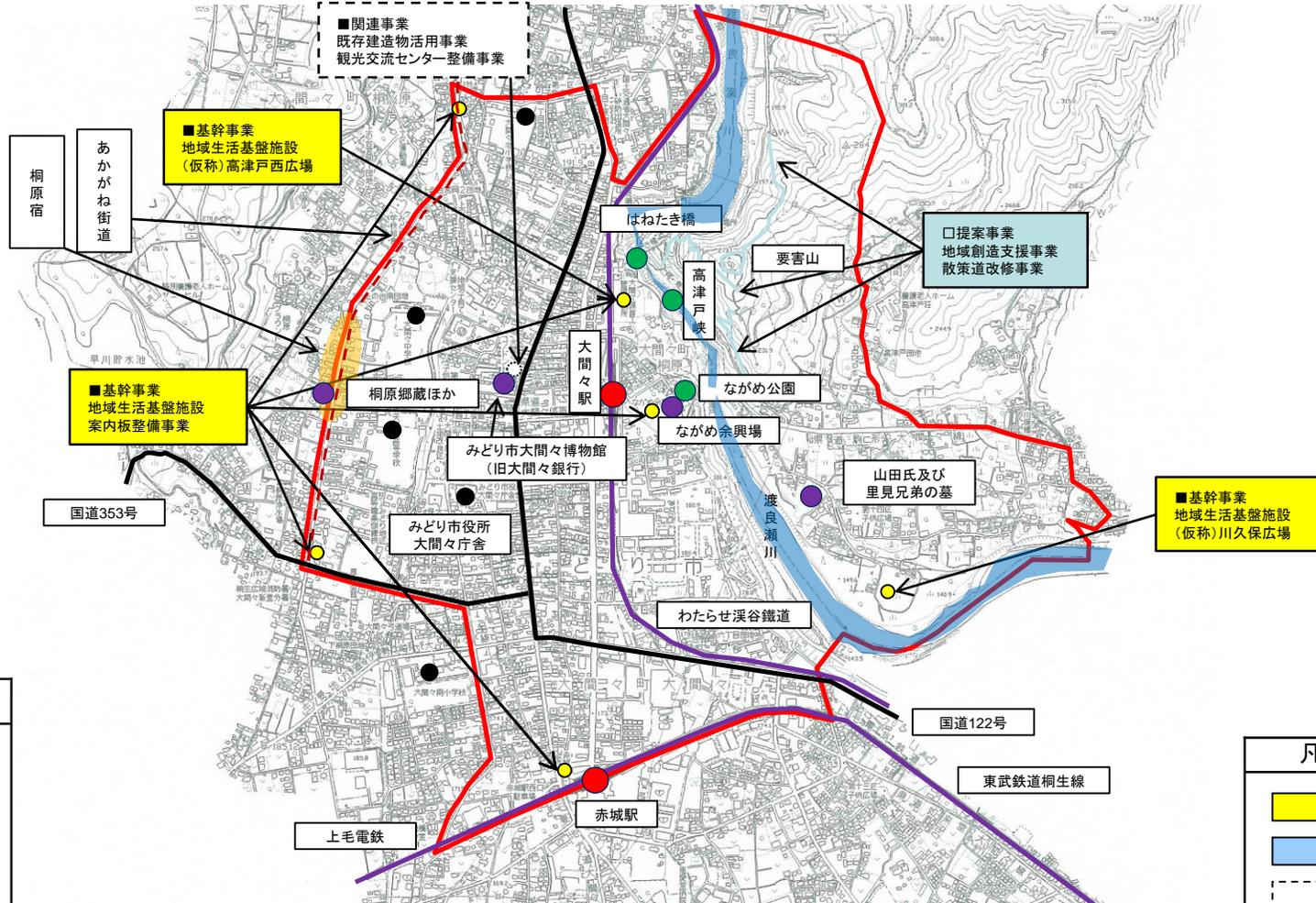
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
入込観光客数	人/年	みどり市における年間入込観光客数	観光機能の強化や回遊性の向上により、地域資源の魅力向上を図り、観光客を増加させる。	2,708,544	H23	3,000,000	H31

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・観光交流センターの整備や案内看板の整備により観光機能を充実させ、交流人口の増加を目指す。</p>	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設：案内板整備事業 【関連事業】 既存建造物活用事業：観光交流センター整備事業</p>
<p>・観光ルートに広場を整備し、また散策道の改修など歩行環境を整備し、観光客の回遊性を高める。 なお、(仮称)高津戸西広場6,700㎡及び(仮称)川久保広場6,100㎡は、「みどり市憩いの交流広場条例」に定め、広場全区域を広場として施設管理を行う。</p>	<p>【基幹事業】 地域生活基盤施設：(仮称)高津戸西広場整備事業 地域生活基盤施設：(仮称)川久保広場整備事業 【提案事業】 地域創造支援事業：散策道整備事業</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p>	

大間々観光地区(群馬県みどり市) 整備方針概要図

目標	地域資源を活用したまちづくり	代表的な指標	年間入込観光客数 (人/年)	2,708,544 (H23年度)	→	3,000,000 (H31年度)
			()	(年度)	→	(年度)
			()	(年度)	→	(年度)



凡 例(施設等)	
●	鉄道駅
●	観光等施設
●	文化財
●	学校・庁舎

凡 例(事業)	
■	基幹事業
□	提案事業
---	関連事業